

青山真治監督プロフィール

1964年福岡県北九州市出身。

1996年、地元・福岡県の門司を舞台にした『Helpless』で長編映画デビュー。自ら脚本・音楽も手がけた本作は低予算ながら、その乾いた人間関係や暴力描写などが高く評価され、トロント、ウィーン、トリノなど数多くの国際映画祭に出品される。

その後も『チンピラ』(96)、『WiLd LiFe』(97)、『冷たい血』(97)、『シェイディー・グローヴ』(99)、『EM/エンバーミング』(99)など精力的に作品を送りだす。

そして2000年の監督作品『EUREKA ユリイカ』で、第53回カンヌ国際映画祭コンペティション部門に招待され、国際批評家連盟賞とエキュメニク賞をW受賞するという快挙を成し遂げる。

更にベルギー王立フィルムアーカイブより「ルイス・ブニュエル黄金時代賞」を獲得し、名実ともに世界にその名を知られるようになる。

以降も、作家・中上健次を巡るドキュメンタリー『路地へ中上健次の残したフィルム』(00)、2年連続でカンヌ国際映画祭コンペティション部門に招待された『月の砂漠』(01)、ベルリン国際映画祭に出品された『私立探偵濱マイク・名前のない森』(02)、東野圭吾原作ミステリーの映画化に挑んだ『レイクサイド マーダーケース』(04)と作品を重ねる。

05年には、『エリ・エリ・レマ・サバクタニ』でカンヌ国際映画祭“ある視点”部門へ、翌06年の『こおろぎ』、そして07年の『サッド ヴァケーション』(07)では2年連続でヴェネチア国際映画祭オリゾンティ部門に招待されるなど、日本が誇る世界的映画監督である。

また自らの監督作品等で脚本を手がける一方、01年に初めて手がけた自作のノベライズ小説『EUREKA』で第14回三島由紀夫賞を受賞するなど小説家としても活動。

05年には『ホテル・クロニクルズ』で第27回野間文芸新人賞候補にノミネートされた。

2011年の『東京公園』では、小路幸也の原作を柔らかくあたたかな視線で映像化し、新境地をみせている。この作品で、第64回ロカルノ国際映画祭にて、金豹賞(グランプリ)審査員特別賞を受賞。

また、同年、舞台初演出となる作品「グレンギャリー・グレン・ロス」(出演:石丸幹二、坂東三津五郎 他)が、銀河劇場を皮切りに公演となった。

続いて、「おやすみ、母さん」(出演:白石加代子・中嶋朋子)を池袋あうるすぽっとで、公演。その後も、数々の舞台演出に挑戦している。

2013年には『共喰い』で、第66回ロカルノ国際映画祭にて、ボッカリーノ賞最優秀監督賞を受賞、第68回毎日映画コンクールで脚本賞と撮影賞も受賞。

2015年には、WOWOW 連続ドラマ「贖罪の奏鳴曲」にて、久しぶりの連続ドラマに挑戦し、好評を得る。

2018年には、大学の教職を辞して、再び映画業界に戻る。NHKBS プレミアムドラマ「金魚姫」(2020年3月放送)、2021年に公開された『空に住む』が遺作となった。2022年3月21日食道がんのため57歳で逝去。

※写真のクレジット ©2011「東京公園」製作委員会 撮影：齋藤英



【問い合わせ先】

北九州国際映画祭及び青山真治監督追悼特集上映に関すること

北九州国際映画祭実行委員会事務局

(北九州市市民文化スポーツ局文化企画内)

担当：村田、堀池 (TEL：093-582-2389)

<https://kitakyushu-kiff.jp/>

青山真治監督追悼上映の企画・広報等について

ミラクルヴォイス (info@miraclevoice.co.jp)

担当：伊藤、今井 (TEL：03-6416-3681)

作品ラインナップ

北九州サーガ3部作ほか6作品を一挙上映

Helpless

北九州に暮らす高校生の健次は、仮出所した幼馴染の安男に再会。ヤクザの組長を探す安男から鞠と妹のユリを託され、思わぬ暴力沙汰に巻き込まれていく。青山監督の初の劇場用映画であり浅野忠信の初主演映画となった本作は、国内外の映画祭に多数出品され大きな評価を得た。

監督・脚本：青山真治 プロデューサー：仙頭武則 撮影：田村正毅 記録・衣装：佐藤公美

出演：浅野忠信（白石健次）、光石研（松村安男）、★辻★香緒里（松村ユリ）、斉藤陽一郎（秋彦）

★辻＝公式の表記ではしんじょうの点が1つ

1996年製作／79分／日本

配給：WOWOW

劇場公開日：1996年7月27日

©1996 WOWOW /バンダイビジュアル



EUREKA ユリイカ

バスジャック事件の被害者となった運転手の沢井真と、乗客の田村直樹・梢兄妹。生活が一変し心に大きな傷を負った彼らは、もう一度人生をやり直すため、兄妹の従兄を連れあてのけない旅に出る。本作はカンヌ国際映画祭で大絶賛され、世界中に映画作家青山真治の名前を知らしめた。

カンヌ国際映画祭国際批評家連盟賞&エキュメニク賞をW受賞、シンガポール国際映画祭 最優秀アジア映画賞受賞

監督・脚本：青山真治 プロデューサー：仙頭武則 記録・アシスタントプロデューサー：佐藤公美 撮影：田村正毅

出演：役所広司（沢井真）、宮崎あおい（田村梢）、宮崎将（田村直樹）、斉藤陽一郎（秋彦）、光石研（シゲオ）、松重豊（松岡）、利重剛（犯人）

2000年製作／217分／日本

配給：東京テアトル

劇場公開日：2001年1月20日

© J-WORKS FILM INITIATIVE



サッド ヴァケイション

安男の妹ユリを連れ各地を転々としていた健次は、自分を捨てた母親に偶然再会。彼女の現夫が営む運送会社「間宮運送」で働き出す。そこには、かつてバスジャック事件の被害者として旅に出た梢もいた。『Helpless』『EUREKA』の登場人物が一堂に会した、“北九州サーガ”3作目にして最終章。

ヴェネチア国際映画祭オリゾンティ部門に正式出品

監督・原作・脚本：青山真治 プロデューサー：甲斐真樹 撮影：たむらまさき

出演：浅野忠信（白石健次）、石田えり（間宮千代子）、宮崎あおい（田村梢）、板谷由夏（椎名冴子）、中村嘉律雄（間宮繁輝）、高良健吾（間宮勇介）、畔上真次（アチュン）、光石研（茂雄）、斉藤陽一郎（秋彦）、★辻★香緒里（松村ユリ）、とよた真帆（牧村医師役）、オダギリジョー（後藤）



2007年製作／136分／日本

配給：スタイルジャム
劇場公開日：2007年9月8日
©間宮運送組合 2007

東京公園

カメラマン志望の光司は、見知らぬ男からの「自分の妻を尾行し撮影してほしい」という依頼を、困惑しながらも引き受ける。彼女を追いかけて東京中の公園を回るうち、彼は自分にとって大事な女性たちとの関係を振り返ることに。青山監督の新境地ともいえる清々しいラブストーリー。

ロカルノ国際映画祭金豹賞審査員特別賞受賞

監督：青山真治 原作：小路幸也『東京公園』 脚本：青山真治、内田雅章、合田典彦 プロデューサー：齋藤寛朗、山崎康史 撮影：月永雄太
出演：三浦春馬（志田光司）、榮倉奈々（富永美優）、小西真奈美（志田美咲）、井川遥（初島百合香／志田杏子）、高橋洋（初島隆史）、染谷将太（高井ヒロ）、斎藤陽一郎（ピアニスト・横坂好生役）



2011年製作／119分／G／日本
配給：ショウゲート 宣伝：ミラクルヴォイス
劇場公開日：2011年6月18日
©2011「東京公園」製作委員会

共喰い

暴力的な父を嫌悪しながら、彼と日に日に似てくる自分に怯える高校生の遠馬。父と息子をつなぐ血縁関係は、周囲の女性たちを巻き込みながらある事件へと導かれる。原作は芥川賞を受賞した田中慎弥の小説『共喰い』。物語の舞台は昭和末期の下関だが、撮影は北九州で行われた。

ロカルノ国際映画祭 YOUTH JURY AWARD 最優秀作品賞&ポッカリーノ賞 最優秀監督賞をW受賞

監督：青山真治 原作：田中慎弥『共喰い』 脚本：荒井晴彦 プロデューサー：甲斐真樹 アソシエイトプロデューサー：佐藤公美 撮影：今井孝博
出演：菅田将暉（篠垣速馬）、木下美咲（千種）、篠原友希子（琴子）、光石研（篠垣円）、田中裕子（篠垣仁子）



2013年製作／102分／R15+／日本
配給：ビターズ・エンド 宣伝：ミラクルヴォイス
劇場公開日：2013年9月7日
©田中慎弥／集英社・2012「共喰い」製作委員会

空に住む

両親を突然亡くし、叔父夫婦が所有する高層マンションに、愛猫ハルと暮らし始めた出版社勤務の直実。やがて彼女は、同じマンションに住む人気俳優の時戸森則と知り合い不思議な関係を結ぶことに。一人の女性が前を向き再び歩き出すまでを描いた本作は、青山監督の遺作となった。

釜山国際映画祭アジアの窓部門に正式出品

監督：青山真治 原作：小竹正人『空に住む』 脚本：青山真治、池田千尋
プロデューサー：井上欽大、齋藤寛朗
出演：多部未華子（小早川直実）、岸井ゆきの（木下愛子）、美村里江（小早川明日子）、岩田剛典（時戸森則）、鶴見辰吾（小早川雅博）、大森南朋（吉田理）、永瀬正敏（ペット葬儀屋）、高橋洋（柏木）、斎藤陽一郎（医師）



2020年製作／118分／G／日本

配給：アスミック・エース 宣伝：ミラクルヴォイス

劇場公開日：2020年10月23日

©2020 HIGH BROW CINEMA